

「京都文学賞実行委員会」第1回総会（設立会議）

日時：平成31年4月22日（月）
午前11時～正午
場所：京都市役所3階 第一応接室

次 第

1 開会挨拶

門川大作 京都市長

2 出席者紹介

3 議 事

(1) 京都文学賞実行委員会の設立について

- 実行委員会規約の承認 議案1
- 実行委員長の互選及び副実行委員長の指名
- 監修・アドバイザーの指名 議案2

(2) 第1回京都文学賞 事業計画及び収支予算について 議案3

(3) 最終選考委員の委嘱について 議案4

4 記念撮影

5 記者質疑応答

6 閉 会

<配布資料>

- ・ 配席図
- ・ 京都文学賞実行委員会 実行委員等候補者名簿 資料1
- ・ 議案1 京都文学賞実行委員会規約（案）
- ・ 議案2 監修・アドバイザーの指名（案）について
- ・ 議案3 第1回京都文学賞 事業計画及び収支予算（案）
- ・ 議案4 最終選考委員の委嘱（案）について

京都文学賞実行委員会規約

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、「京都文学賞実行委員会」(以下「実行委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、世界文化自由都市宣言40周年を契機として、京都における文学の振興に寄与するとともに、「文化都市・京都」の発信や、京都の歴史と魅力の再認識、都市格の向上につなげるため、京都を題材とした文学作品を募集・表彰する「京都文学賞」を実施することを目的とする。

(事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達するために、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 本事業の計画の策定及び実施に関すること。
- (2) 関係機関等が実施する事業等との連携及び協力等に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要と認められること。

第2章 組 織

(組織)

第4条 実行委員会は、委員をもって組織する。

2 委員は別表に掲げる者とする。

(実行委員長及び副実行委員長)

第5条 実行委員会に、実行委員長及び副実行委員長を置く。

- 2 実行委員長は、委員の互選によって選出する。
- 3 副実行委員長は、委員のうちから実行委員長が指名し、複数置くことができる。
- 4 実行委員長は、実行委員会を代表して会務を総理する。
- 5 副実行委員長は、実行委員長を補佐し、実行委員長に事故あるとき又は実行委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(監修・アドバイザー)

第6条 実行委員会に、監修・アドバイザーを置き、第12条に規定する会議に出席を求めることができる。

- 2 監修・アドバイザーは、実行委員会が指名する者をもって充てる。
- 3 監修・アドバイザーは、実行委員会の事業全般について、必要に応じ意見を述べ、助言を行う。

(アンバサダー)

第7条 実行委員会に、アンバサダーを置くことができる。

- 2 アンバサダーは、実行委員会が指名する者をもって充てる。
- 3 アンバサダーは、京都文学賞及び受賞作品に関する広報・宣伝を支援する。

(監事)

第8条 実行委員会の業務及び会計の状況を監査するため、監事を置く。

- 2 監事は、京都市又は専門的知見を有する個人若しくは団体のうちから実行委員会が指名する。

(案)

(選考委員会)

第9条 実行委員会は、受賞作品の選定に当たり、選考委員会の意見を聴くものとする。

- 2 選考委員会は、実行委員会が委嘱又は指名する選考委員により構成する。
- 3 選考委員会は、実行委員長が招集する。
- 4 選考委員会の議事は、出席者の合議により決するものとする。

(報酬等)

第10条 委員、監修・アドバイザー、アンバサダー及び選考委員には、報酬及び旅費を支払うことができる。

- 2 前項の規定による報酬及び旅費の額及び支払方法については、実行委員長が別に定める。

(任期)

第11条 委員の任期は、第18条に規定する実行委員会の解散の日までとする。ただし、委員が、その機関又は団体の役職を離れた場合は、その後任者が委員を務めるものとする。

- 2 監修・アドバイザー、アンバサダー及び選考委員の任期は2年間とする。ただし、再任は妨げない。

第3章 会 議

(会議)

第12条 実行委員会に次の会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 企画運営委員会

- 2 前項に定めるもののほか、実行委員長が必要と認める会議を実行委員会に置くことができる。

(総会)

第13条 総会は委員をもって構成する。

- 2 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
 - (1) 事業計画に関すること。
 - (2) 予算及び決算に関すること。
 - (3) 規約の制定及び改廃に関すること。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、重要な事項に関すること。
- 3 総会は、実行委員長が必要と認めたときに招集する。ただし、実行委員長及びその職務を代理するものが存在しないときの総会は、京都市長が招集する。
- 4 総会は、委員の過半数の出席により成立する。
- 5 総会に出席できない委員は、書面をもって表決し、又は代理人に表決を委任することができる。この場合において、その委員は出席者とみなす。
- 6 総会の議事は出席者の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、実行委員長の決するところとする。
- 7 実行委員長は、簡易な事項又は緊急を要する事項について、委員の書面をもって表決し、総会の決定に代えることができる。
- 8 実行委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求めることができる。

(案)

(企画運営委員会)

- 第14条 企画運営委員会は、実行委員会が指名する企画運営委員をもって構成する。
- 2 企画運営委員会は、実行委員会の委任を受け、事業の実施計画の立案、事業の準備、運営、実施等について調査審議又は企画立案し、その結果を実行委員会に報告する。
- 3 企画運営委員会に企画運営委員長を置く。
- 4 企画運営委員長は、企画運営委員の互選によって選出する。
- 5 企画運営委員長は、企画運営委員会に関する業務を統括する。

第4章 事務局

(事務局)

- 第15条 実行委員会の事務を処理するため、京都市文化市民局文化芸術都市推進室に事務局を置く。
- 2 事務局に事務局長を置く。
- 3 事務局の組織及び運営に必要な事項は、実行委員長が別に定める。

第5章 会計

(会計)

- 第16条 実行委員会の経費は、京都市負担金その他の収入をもって充てる。
- (会計年度)
- 第17条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる(ただし、この規約の施行の日の属する年度にあっては、当該施行の日から3月31日までとする。)
- 2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、実行委員長が別に定める。

第6章 解散

(解散等)

- 第18条 実行委員会は、その目的が達成されたときに総会の決定により解散する。
- 2 解散するときに所有する財産及び事務については、京都市に帰属する。

第7章 補則

(補則)

- 第19条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、実行委員長が別に定める。

附 則

この規約は、平成31年4月 日から施行する。

(案)

別表（第4条関係）

氏 名	団体名・役職等
在田 正秀	京都市教育長
内田 孝	京都新聞総合研究所所長
大垣 守弘	一般社団法人京都出版文化協会代表理事
門川 大作	京都市長
北村 信幸	京都市文化芸術政策監
柴田 嘉章	一般社団法人京都出版文化協会理事
仲谷 善雄	公益財団法人大学コンソーシアム京都理事長
洞本 昌哉	京都府書店商業組合副理事長
山内 康敬	京都新聞社代表取締役社長・主筆

監修・アドバイザーの指名（案）について

監修・アドバイザーは、京都文学賞の事業計画の策定及び実施に関することその他事業全般について、必要に応じ意見を述べ、助言を行う。

監修・アドバイザーに、以下の2名を指名する。

1 ^{めんじょう}校^{つよし}條剛氏（文芸評論家，元「小説新潮」編集長）

（経歴等）

1950年東京都生まれ。1973年早稲田大学第一文学部フランス文学科卒業後、新潮社入社。元「小説新潮」編集長。「日本推理サスペンス大賞」，「小説新潮長編新人賞」など複数の新たな文学賞の創設を主導。2014年から2019年3月まで京都造形芸術大学教授を務め，小説家やライターを目指す学生を対象とする「文芸表現学科」で教鞭をとる。著書に『ザ・流行作家』（講談社），『作家という病』（講談社現代新書）など，編著に『小説を書きたい人の本』（成美堂出版）がある。

2 ^{つじい}辻井^{な お き}南青紀氏（小説家，京都造形芸術大学芸術学部文芸表現学科 教授）

（経歴等）

1967年兵庫県生まれ。早稲田大学第一文学部フランス文学科卒業。読売新聞記者，NHK番組制作ディレクター等を経て，2000年，『無頭人』（朝日新聞社刊）で第11回朝日新人文学賞（朝日新聞社主催）受賞。『アトピー・リゾート』『イントゥ・ザ・サーフィン』『ミルトンのアベリャ』（以上，講談社）などの現代文学から，エンタテインメント小説に至るまで，幅広く執筆。最近作は時代小説『蠢く吉原』（幻冬舎），『結婚奉行』（新潮文庫）など。

第1回 京都文学賞

事業計画及び収支予算(案)

平成31年4月22日

1 「京都文学賞」創設趣旨・コンセプト

(1) 創設趣旨

- ・ 京都では、『源氏物語』や『枕草子』など平安京を舞台とする王朝文学が開花し、川端康成の『古都』や三島由紀夫の『金閣寺』に代表されるような数々の名作の舞台となり、更には、多くの京都ゆかりの著名作家を輩出するなど、「文学」と非常に縁の深いまちです。
- ・ 昨年、本市では、文化による世界との交流と平和の実現を都市の理想として掲げた「世界文化自由都市宣言」から40周年を迎えたことを記念して、京都から新たな文学を発信することにより、「文化都市・京都」の更なる発信を図るとともに、京都における文学の振興や、京都の歴史と幅広い魅力の再認識、都市格の向上に寄与するため、新たな文学賞を創設することとしました。

<平成30年度の検討経過>

- ・ 平成30年度は、有識者へのヒアリングや他の文学賞の事例調査等を実施し、京都新聞、大垣書店に協力いただきながら検討会議を重ね、文学賞の制度設計を行ってきました。
- ・ 11月25日にはシンポジウムを開催し、出演の作家（藤野可織氏・望月麻衣氏）や有識者、来場の市民の皆様等から幅広く意見を聴取しました。

(2) コンセプト

□ 京都を題材とする「小説」を募集

京都を題材（※1）とする未発表（※2）の小説を全国から公募します。

※1 歴史上の京都、仮想の京都、京都ゆかりの文化等、広く題材が京都と関わりのあるものであれば可とします。

※2 商業出版されたものや、他の文学賞を受賞した作品は対象外とします。

□ 新人作家の発掘、育成を目指す

行政、新聞社、書店、出版社等が連携して、受賞作の出版や書店における展開など、受賞者への幅広い支援を検討し、新人作家の発掘、育成を図ります。

□ 選考過程には一般読者も参画

選考過程では、公募により選定する読者選考委員の方にも参画いただきます。読者の視点でより良い作品を選ぶことを目的とし、広く市民等が文学に親しむ機会の創出を図るとともに、多くの皆様に応援していただける文学賞を目指します。

□ 最終選考委員には京都ゆかりの作家が就任

京都ゆかりの作家お二人が最終選考委員をお務めいただきます。（別途資料配布）

□ 一般部門のほか「中高生部門」と「海外部門」を設置

一般部門に加え、中高生を対象とした部門と、留学生をはじめ外国籍の方を対象とした部門を設置し、若者の活字離れの防止はもとより、読書好きの若者を育み、また、文学を通じた国内外との文化交流にも寄与します。

2 「京都文学賞」の概要

(1) 作品募集要項

1 募集作品	● 京都を題材とする「小説」とし、純文学、エンターテインメント等のジャンルは問いません。 ● 日本語で書かれた作品に限ります。 ● 未発表の作品に限り、商業出版されたものや他の文学賞を受賞したものは対象外とします。
2 応募区分・資格	● 「一般部門」「中学生・高校生部門」「海外部門」の3部門を設け、プロ・アマを問わず、全国から作品を募集します。 ● 「一般部門」については、年齢・国籍を問いません（高校生以下の方、外国籍を有する方でも、「一般部門」に応募することができます。）。 ● 「海外部門」については、留学生をはじめ外国籍を有する作家を対象とします。
3 応募規定	<一般部門> 28,000字以上160,000字以内（400字詰原稿用紙換算で、70枚以上400枚以内相当） <中高生部門、海外部門> 8,000字以上60,000字以内（400字詰原稿用紙換算で、20枚以上150枚以内相当）
4 応募方法	● <u>後日、京都文学賞の専用サイトを開設し、作品の応募受付を開始します。その時に、応募先及び応募方法の詳細について発表します（5月下旬頃を予定）。</u> ● 応募方法は電子フォーム（専用サイトに設置）又は郵送のいずれかとします。 ● パソコン原稿の場合は、A4版横長のマス目のない用紙に30字×40行の縦書きで印字してください（手書き原稿は不可とします。）。 ● 作品のあらすじを800字以内にまとめ、添付してください（あらすじは、文字数には含めません。）。 ● 所定の応募用紙（後日専用サイトにUPします）を表紙とし、応募用紙に必要事項を記入のうえ、あらすじ、作品本文の順にまとめてください。 ● 作品本文ページの左下に通し番号（ページ番号）を入れ、郵送の場合は右肩をクリップ又は紐で綴じてください（ホッチキス留めは不可）。
5 応募締切	<u>2019年9月30日（月） 消印有効</u> ※ 電子フォームでの応募の場合は30日23:59まで有効。
6 最終選考委員	別途資料配布 議案4
7 賞の内容	<一般部門> 最優秀賞1点 賞金100万円、出版化 優秀賞（又は選考委員特別賞）1点 賞金50万円 <中高生部門> 最優秀賞1点 図書カード10万円、優秀賞1点 図書カード5万円 <海外部門> 最優秀賞1点 10万円

8 発表	<一次選考> 2019 年 11 月下旬頃に、選考結果を専用サイト上にて発表します。 <二次選考> 2020 年 1 月上旬頃に、選考結果及び簡易な選評を専用サイト上にて発表します。 <最終選考> 2020 年 2 月頃に、受賞者へ直接通知するほか、選考結果及び選評を専用サイト等で発表します。
9 表彰式・交流会	2020 年 3 月（予定） 京都市内の会場にて、受賞者のほか、選考委員や出版社等を招いて実施します。
10 注意事項	● 応募は一人一編とします。 ● 他の文学賞へ応募し、結果が判明していない作品の投稿は受け付けません（二重投稿の禁止）。 ● 応募後の作品の訂正、返却依頼は受け付けません。必要であれば予めコピーしておいてください。 ● 作品の選考に関するお問い合わせには応じられません。 ● 受賞作品の著作権は、京都文学賞実行委員会事務局及び協力出版社と協議のうえ、決定するものとします。 ● 応募により得た個人情報については、本文学賞に関するもの以外には使用しません。

(2) 読者選考委員募集要項

1 読者選考委員の役割	● 京都文学賞の選考に関わっていただく読者選考委員を広く全国から一般公募します。 ● 京都文学賞の各部門（一般／中高生／海外）における一次選考通過作品について、審査基準に沿って選考し、感想を記述していただきます（＝二次選考）。 ※ 一次選考は、書評家など専門家により実施します。 ● 二次選考の終了後、最終選考に参画いただく読者選考委員を、主催者において若干名選定させていただきます。当該読者選考委員の方には、最終選考委員の一員として、最終選考会に臨んでいただきます。
2 選考作品数及び選考時期	<二次選考（2019 年 11 月下旬～12 月頃）> 1 人 10～15 作程度（全読者選考委員が担当） ※ 担当する作品数は、応募状況により変動する可能性があります。 <最終選考（候補作品送付：2020 年 1 月頃 選考会：2020 年 2 月頃）> 各部門から数点
3 募集人員	40 名程度 ※ 本文学賞に作品を応募される方は、読者選考委員には応募できません。

4 謝礼	40,000 字までにつき 500 円分の図書カード（1 作品上限 2,000 円） ※ 最終選考会に出席いただく場合は、別途謝礼をお支払いします。
5 特典	① 2020 年 3 月頃に京都市内で開催する表彰式・交流会へ御招待（交通費は自己負担） ② 受賞作の刊行本プレゼント（予定）
6 申込方法	以下の事項を記載し、郵送で申込先へ提出してください ※ 5 月下旬頃に申込先を公表し、応募受付を開始いたします。 ① 選考を希望する部門（複数選択可。希望する順に記載。） ② 京都との関わり ③ 読書歴（1 箇月に何冊程度本を読むか）・筆歴（ある方のみ） ④ 好きな小説のジャンル（純文学，ミステリー・ホラー，SF・ファンタジー，歴史・時代，青春・恋愛，その他 ※複数選択をお願いします。）及び好きな作品ベスト 5（作品名・作者名） ⑤ 『檸檬』（梶井基次郎）を読んでの感想（400 字程度） ⑥ 応募理由を含む自己アピール（200 字～400 字程度） ⑦ 住所・名前・年齢・職業・電話番号・E メールアドレス
7 申込期限	<u>2019 年 7 月 31 日（水） 消印有効</u>
8 結果通知	2019 年 10 月上旬頃までに本人に通知します。 ※ 2019 年 10～11 月頃に選考に関する説明会を開催しますので御出席ください。
9 備考	応募者の選考は、京都文学賞実行委員会が行います。

【京都文学賞の募集要項等に関する問い合わせ先】

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課
（京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町 394 番地 Y・J・K ビル 2 階）
TEL：075-366-0033 FAX：075-213-3181
URL：<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000251160.html>

3 実施スケジュール

<2019 年度スケジュール（想定）>

	作品	読者選考委員
2019年 4月	実行委員会の設立，募集発表	
5月	専用サイト開設，広報物作成，応募受付開始	
6月	募集PR	募集PR
7月		応募締切り
8月		読者選考委員の選定
9月	応募締切り	
10月	一次選考（45日間程度）	読者選考委員へ結果通知，説明会の開催
11月	一次選考通過作品発表	
12月	二次選考（45日間程度）	二次選考（全員）
2020年 1月	二次選考通過作品発表	最終選考会に参画する読者選考委員の選定・通知
2月	最終選考会，受賞作品の発表	最終選考会（一部）
3月	表彰式・交流会	

4 収支予算

(1) 収入 (単位：千円)

負担別	平成 31（2019）年度
京都市負担金	17,500
協賛金（予定）	未定

(2) 支出（概算） (単位：千円)

種 別	平成 31（2019）年度	備 考
広報費	4,700	専用サイト開設・運営，広報物作成，各種広告費
選考費（一次～最終）	3,800	謝礼（一次・二次），印刷・郵送費，会場費
顕彰関係	3,000	賞金，記念品，作品集の発行，新聞掲載など
表彰式	1,600	会場費，交通費など
各種謝礼・予備費	2,400	謝礼（最終選考委員，アドバイザー），諸雑費
企画管理費	2,000	
合 計	17,500	

最終選考委員の委嘱（案）について

最終選考委員に、いしいしんじ氏（作家）、原田マハ氏（作家）及び校條剛氏（文芸評論家、元「小説新潮」編集長）を委嘱する。

最終選考委員会は、別途、企画運営委員会が実行委員会の委任を受けて指名する読者選考委員の代表（若干名）と主催者の代表が加わり実施する。

1 いしいしんじ 氏（作家）

《プロフィール》

1966 年大阪市生まれ。京都大学文学部仏文学科卒。

1994 年『アムステルダム犬』でデビュー。1996 年、短篇集『とーきょーいしいあるき』刊行（のち『東京夜話』に改題して文庫化）。2000 年、初の長篇『ぶらんこ乗り』刊行。2003 年『麦ふみクーツェ』で坪田譲治文学賞、2012 年『ある一日』で織田作之助賞、2016 年『悪声』で河合隼雄物語賞を受賞。

その他の小説に『プラネタリウムのふたご』（講談社）、『ポーの話』『海と山のピアノ』（新潮社）、『みずうみ』（河出書房新社）、『四とそれ以上の国』（文藝春秋）、『よはひ』（集英社）、エッセイに『京都ごはん日記』（河出書房新社）、『且坐喫茶』（淡交社）、『毎日が一日だ』（毎日新聞社）など。

現在、京都市在住。

これまで「明倫レコード倶楽部」（京都芸術センター事業）のほか、京都の書店と連携したイベントに多数出演。ロームシアター京都オープニング事業「やわらかなかぐら」では初脚本を務めた。



2 原田マハ 氏（作家）

《プロフィール》

1962 年，東京都生まれ。関西学院大学文学部日本文学科及び早稲田大学第二文学部美術史科卒業。馬里邑美術館，伊藤忠商事を経て，森ビル森美術館設立準備室在籍時に，ニューヨーク近代美術館に派遣され勤務。

2005 年，『カフーを待ちわびて』で日本ラブストーリー大賞を受賞しデビュー。2012 年，『楽園のカンヴァス』で山本周五郎賞受賞。2017 年，『リーチ先生』で新田次郎文学賞受賞。2018 年，京都を舞台とした小説『異邦人^{いりびと}』で第 6 回京都本大賞を受賞。

著書に『総理の夫』（実業之日本社文庫），『サロメ』（文藝春秋），『あなたは、誰かの大切な人』（講談社文庫），『アノニム』（KADOKAWA），『たゆたえども沈まず』（幻冬舎）など多数。最新刊は『常設展示室』（新潮社）。

国立西洋美術館の礎となった松方コレクションを巡る物語『美しき愚かものたちのタブロー』（文藝春秋）を 5 月 31 日に発売予定。

これまで「京博連創立 25 周年記念シンポジウム」（2018 年 2 月，京都新聞文化ホール）や「京都 日本画新展」記念シンポジウム（2019 年 1 月，先斗町歌舞練場）等に出演。



©森 栄喜